24　面接での受け答え［実践］

　面接は、直接対面して言葉を交わします。そこでは、生身の人間を見てもらえます。自分のよさや人柄を知ってもらうようにアピールすることが可能です。

　ただし、話し言葉ですから、発言の途中でゆっくりと考えているヒマはありません。文章の場合のようにしている余裕はないのです。ですから、何を聞かれても答えることができるように、十分に用意をしておく必要があります。

　面接で質問される内容は、ある程度予測できるものも少なくありません。質問に対する答えや、話したい内容を想定し、声に出して発言する練習をしておきましょう。

　そして、はきはきとした声で話せるようになりましょう。

　なお、面接では言葉以外の見た目の印象も大切です。話をするときには、背筋を伸ばした、よい姿勢で、相手の目を見て話してください。

面接での注意

①質問の答えに説明を加える。

　単に質問の答えを述べるだけでなく、それに関連する事柄を加えて説明する。

　例　志望動機を述べるときには、そのような動機をもつに至ったきっかけを加える。

　例　高校生活で力を入れたことを述べるときには、その理由やそれから学んだことを加える。

②質問のねらいを推測しながら答える。

　質問はその答えを要求しているだけでなく、その質問を通してあなたのことを知ろうとしている。そのねらいを考えて話すと思いが伝わる。

　例　「将来どういう仕事をしたいか」（質問）

　　　　　　↓　ねらい

　　　　あなたの思いがどれほど真剣なのか。

③言葉づかい、特に敬語に注意しよう。

　話し言葉で特に注意すべきは敬語である。相手や先生の行為には尊敬語、自分の行為には謙譲語という原則を忘れないようにする。

　例　おっしゃる・お尋ねになる（以上、尊敬語）

　　　お願いいたします・申します・…しております（以上、謙譲語）

レッスン１　面接を受けるシーンで、次の⑴～⑷の場合に対して適切な受け答えの言葉を解答欄に書きなさい。

⑴　面接の部屋に入るとき。

⑵　「お名前をどうぞ。」と言われたとき。

⑶　「どうぞおかけください。」と言われたとき。

⑷　「それでは、これで面接を終わります。」と言われたとき。

⑴［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

⑵［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

⑶［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

⑷［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

レッスン２　面接で、次の質問に対してどのように答えますか。それぞれに対する答えを簡単にメモしなさい。ただし、⑶と⑷は自分の進路に合わせて、どちらかに答えなさい。

⑴　志望動機を教えてください。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

⑵　高校生活で最も力を入れたことは何ですか。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

⑶　（就職希望）弊社を知ったきっかけは何ですか。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

⑷　（進学希望）本校で学びたいことは何ですか。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

レッスン３　次の敬語の間違いを見つけ、例にならって訂正しなさい。

　　　　　　　　　　おっしゃった

　例　先生はがんばれと申された。

⑴　今、お尋ねされた志望動機について、お答えになりたいと思います。

⑵　私のお父さんは、就職することに理解を示してくださっています。

【解答】

レッスン１

⑴失礼いたします。

⑵○○高等学校から参りました◇◇◇◇と申します。よろしくお願いします。

⑶失礼いたします。

⑷ありがとうございました。

レッスン２（例）

⑴　志望動機を教えてください。

　「食」の大事さ、さらには「食」の安全を人々に伝えられる仕事に従事したいからです。

⑵　高校生活で最も力を入れたことは何ですか。

　「食」の安全に関する本を、図書館で次々と探して読んだことです。

⑶　（就職希望）弊社を知ったきっかけは何ですか。

　「食」の安全に関する活動を熱心に取り組んでいる企業、という雑誌記事を読んだことです。

⑷　（進学希望）本校で学びたいことは何ですか。

　保育士になるために必要なことがらです。

⑸　将来どのような仕事をしたいですか。

　「食」の安全性をより多くの人々に伝えて、安全な食生活を人々に提供する仕事をしたいです。

レッスン３

⑴お尋ねされた→お尋ねになった

　お答えになりたい→お答えしたい

⑵お父さん→父

　くださって→くれて